

第 13 回富山県入札監視委員会の審議の概要

開催日及び場所	平成 21 年 11 月 30 日 (月) 富山県民会館 701 号室		
委員 (委員数 5 名) (出席数 5 名)	委員長	広瀬 慎一	(富山県立大学短期大学部非常勤講師)
	委員	尾畑 納子	(富山国際大学現代社会学部教授)
	委員	島谷 武志	(弁護士)
	委員	土開 由香	(税理士)
	委員	中村 和之	(富山大学経済学部教授)
次 第	1 開会 2 入札・契約手続の運用状況等の報告 ① 富山県の入札・契約制度について ② 入札・契約方式別発注工事について ③ 一位不動入札、落札率 100%入札、平成 21 年度上半期落札率、低入札状況及び指名停止等の運用状況について 3 審議対象工事からの抽出結果の報告 (広瀬委員長) 4 抽出事案の審議 5 閉会		
審議対象期間	平成 21 年度上半期 (同時期に請負契約を締結した工事)		
抽出事案	10 件 (審議対象工事総件数 1,030 件)		
一般競争入札	1 億円以上	1 件	(事案 1) 富山海岸災害復旧 16・17・18 号離岸堤ブロック製作据付工工事
	2 千万円以上	4 件	(事案 2) 早月川砂防改良 4 号床固工工事 (事案 3) 主要地方道宇奈月大沢野線道路創造交付金(仮称)新東山橋下部工(P 3 橋脚)工事 (事案 4) 伏木富山港 (伏木地区) 港湾改良臨港道路伏木外港 1 号線道路改良その 2 工事 (事案 5) 海岸防災林「八幡」植栽外工事
指名競争入札		4 件	(事案 6) 三尾地区地すべり防止法面工工事 (事案 7) 一般県道小森谷庄川線外県単独交通安全施設 (2 種) 標識工工事 (事案 8) 地すべり対策事業麻生谷地区土捨場整備工事 (事案 9) 仁右エ門用水発電所 (仮称) 建設事業 発電所周辺施設工工事
随意契約		1 件	(事案 10) 県営住宅古寺団地 7 号棟火災復旧工工事
委員からの意見及び質問並びに当該質問に対する回答	意見・質問	回 答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会としての意見	平成 21 年度上半期における建設工事に係る入札・契約については、概ね適正に行われていると判断する。		

別 紙

意見・質問	回 答
<p>○総合評価方式にて入札を行った工事(事案2、事案3及び事案5)について、入札者間の技術評価点の差がそれほど大きくないように見受けられるが、技術評価点に占める加算点のウェートを今後引き上げていくといったことは考えているか。</p> <p>○事案1の工事について、複数の工事を同時に発注し、最初に開札した工事の落札者が次に開札する工事の入札にも参加していた場合、当該業者の札は開かない方式(J0方式)をとっているが、どのような考え方で同方式を採用したのか。</p> <p>○事案3の工事について、応札可能者数に比べ入札参加業者数が5者と少なかったのはなぜか。</p> <p>○事案8の工事について、低入札価格調査時に元請業者から提出を求める下請業者の見積書の書式等について基準を持っているか。下請企業へのしわ寄せ防止をより確実性の高いものにするため、なるべく詳細なものを提出してもらいたい。</p>	<p>試行事例を積み重ねていく中で、加算点のウェートの見直しや評価項目等について検討していきたい。</p> <p>工事の内容が類似しており、工期が重複していたため、J0方式を採用した。</p> <p>県では今年度上半期の発注率を過去最高水準にすべく取り組んでいたところであり、地元業者が受注希望する工事を絞り込んだことが要因の一つと推察される。</p> <p>基準は持っていない。今回の工事における下請工事内容は種子散布工のみであり、単価及び面積をもって概ね適正な金額であると判断した。</p>
<p>(その他)</p>	